DMC-1002/JB SNMP Management Module

ユーザマニュアル



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

	安全上の	りご	注意 必ずお守りください
本製品	また。 この この で、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して	お読み	いたなり必ずお守りください。
<u>^</u> 1	 こ の表示を無視し、間違った使い方をすると、	死亡ま	たは重傷を負うおそれがあります。
	警告 この表示を無視し、間違った使い方をすると、	火災や	感電などにより人身事故になるおそれがあります。
<u>^</u> ;	主意 この表示を無視し、間違った使い方をすると、	傷害ま	たは物損損害が発生するおそれがあります。
記号の	😹 🚫 してはいけない「 禁止」 内容です。 🎈 🕯	がず実行	っしていただく 「指示」 の内容です。
	۸	危険	
○ 茶 止	分解・改造をしない 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。	☆ 止	油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や 熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、 こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、 風呂場など)、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない
禁止	od いこ子 C こうりない 感電の原因となります。		火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。
☆ 止	水をかけたり、ぬらしたりしない 内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。	禁止	内部に並属物や燃えやすいものを入れない。 火災、感電、故障の原因となります。
〇 禁止	水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など) でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない 火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。	公 禁止	砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。 また、砂などが付着した手で触れない 火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。
茶止	各種端子やスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、 ペットの尿など)をいれない。万が一、入ってしまった場合は、 直ちに電源プラグをコンセントから抜く 火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。	人 茶 止	電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、 圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない 火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。
	∧ 1	整生	
禁止	落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを 与えたり、圧力をかけたりしない 故障の原因となります。	•	ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や 粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る 引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
☆ 止	発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま 使用しない 感電、火災の原因になります。 使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出たくなって	○ 禁止	カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない 素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、 火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。
\bigcirc	から販売店に修理をご依頼ください。 表示以外の電圧で使用しない	0	無線製品は病院内で使用する場合は、 各医療機関の指示に従って使用する 電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。
禁止 () () () () () () () () () ()	火災、感電、または故障の原因となります。 たこと配線禁止 たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の	☆ 止	本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの (フィルムやシールでの装飾を含む)を置かない 火災、または故障の原因となります。
	原因となります。 設置、移動のときは電源プラグを抜く	0	耳を本体から離してご使用ください 大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。
○ 禁止	火災、感電、または故障の原因となります。 雷鳴が聞こえたら、ケーブル / コード類にはさわらない 感電の原因となります。	0	無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを 装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、 販売業者に、電波による影響について確認の上使用する
☆ 止	ケーブル/コード類や端子を破損させない 無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、 ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、 または故障の原因となります。	0	医療電気機器に悪影響を及は9おそれかめりま9。
0	本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを 指定のコンセントに正しく接続して使用する 火災、感電、または故障の原因となります。	0	で、」 いたロボノモビードション つくなし、 志かと音 2 久は 9 お C イ しかのります。 ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、 割れたガラスや露出した端末内部に注意する 破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。
☆ 止	各光源をのぞかない 光ファイパケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや LEDをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。	0	ペットなどが本機に噛みつかないように注意する 火災、やけど、けがなどの原因となります。
()	各種端子やスロットに導電性異物 (金属片、鉛筆の芯など) を 接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにする 火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。	※ 止	コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを 抜き差しするときは、金属類を接触させない 火災、やけど、感電または故障の原因となります。
※ 止	使用中に布団で覆ったり、包んだりしない 火災、やけどまたは故障の原因となります。	○ 禁止	AC アダプタや電源ケーブルに 海外旅行用の変圧器等を使用しない 発火、発熱、感電または故障の原因となります。



電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。 この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方法でのご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マーク がついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
 - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
 - 製品の中に異物が入った。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下した、または損傷を受けた。
 - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプが分からない場合は、サービス会社、あるいは お近くの電力会社にお問い合わせください。
- システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ(装備されている場合のみ)がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
 東日本では 100V/50Hz、西日本では 100V/60Hz
- また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。このケーブルには、 正しく接地されるように、3ピンプラグが取り付けられています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルから接地ピンを取り外したりしない でください。延長コードを使用する必要がある場合は、正しく接地されたプラグが付いている3線式コードを使用してください。
- 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数 が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置(UPS) を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏み付けられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- 製品の移動は気をつけて行ってください。キャスタやスタビライザがしっかり装着されているか確認してください。急停止や、凹凸面上の移動は避けてください。

ラック搭載型製品に関する一般的な注意事項

ラックの安定性および安全性に関する以下の注意事項を遵守してください。また、システムおよびラックに付随する、ラック設置マニュアル中の注 意事項や手順についてもよくお読みください。



前面および側面のスタビライザを装着せずに、システムをラックに搭載すると、ラックが倒れ、人身事故を引き起こす場合があります。ラックにシステムを搭載する前には、必ずスタビライザを装着してください。



接地用伝導体を壊したり、接地用伝導体を適切に取り付けないで装置を操作しないでください。適切な接地ができるかわからない場合、電気保安協会または電気工事士にお問い合わせください。

警告

 システムのシャーシは、ラックキャビネットのフレームにしっかり接地される必要があります。接地ケーブルを接続してから、システムに 電源を接続してください。電源および安全用接地配線が完了したら、資格を持つ電気検査技師が検査する必要があります。安全用接地ケー ブルを配線しなかったり、接続されていない場合、エネルギーハザードが起こります。

- システムとは、ラックに搭載されるコンポーネントを指しています。コンポーネントはシステムや各種周辺デバイスや付属するハードウェアも含みます。
- ラックにシステム/コンポーネントを搭載した後は、一度にスライド・アセンブリに乗せて引き出すコンポーネントは1つのみとしてください。
 2つ以上のコンポーネントが引き出されると、ラックがバランスを失い、倒れて重大な事故につながる恐れがあります。
- ラックに装置を搭載する前に、スタビライザがしっかりとラックに固定されているか、床面まで到達しているか、ラック全体の重量がすべて 床にかかるようになっているかをよく確認してください。ラックに搭載する前に、シングルラックには前面および側面のスタビライザを、複 数結合型のラックには前面用スタビライザを装着してください。
- ラックへの装置の搭載は、常に下から上へ、また最も重いものから行ってください。
- ラックからコンポーネントを引き出す際には、ラックが水平で、安定しているかどうか確認してから行ってください。
- コンポーネントレール解除ラッチを押して、ラックから、またはラックへコンポーネントをスライドさせる際は、指をスライドレールに挟まないよう、気をつけて行ってください。
- ラックに電源を供給する AC 電源分岐回路に過剰な負荷をかけないでください。ラックの合計負荷が、分岐回路の定格の 80 パーセントを超えないようにしてください。
- ラック内部のコンポーネントに適切な空気流があることを確認してください。
- ラック内の他のシステムを保守する際には、システムやコンポーネントを踏みつけたり、その上に立ったりしないでください。
- 注意 資格を持つ電気工事士が、DC 電源への接続と接地を行う必要があります。すべての電気配線が、お住まいの地域、および国の電気基準と 規制に準拠していることを確認してください。

静電気障害を防止するために

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に 触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことが できます。

さらに、静電気放出(ESD)による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

- 1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントをシステムに取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気 防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃してください。
- 2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電 防止接地ストラップを使用してください。

バッテリの取り扱いについて

警告 不適切なバッテリの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものをで使用ください。バッテリの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

電源の異常について

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本製品の電源プラグを抜いてください。 電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。 このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。 本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。 必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。 また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従っ てご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。 https://www.dlink-jp.com/support/info/product-assurance-provision.html

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。
- 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
- 弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。 製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。 https://www.dlink-jp.com/support

※4 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。

[]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]	
ご使用上の注意	
ラック搭載型製品に関する一般的な注意事項	5
静電気障害を防止するために	5
バッテリの取り扱いについて	5
電源の異常について	5
はじめに	8
本マニュアルの対象者 表記相則について	
第1章 本製品のご利用にあたって	10
本製品について	
サポートする機能	
前面パネル	
LED 表示 シェーンへの歌字例	
シャーク、00設直別	
第2章 製品の設置	12
パッケージの内容	
ネットワーク接続前の準備	
本製品のシャーシへの取り付け	
第3章 製品管理の導入	13
	·
官理4 ノンヨノ	
端末をコンプールボートに接続する	
Web マネージャの画面構成	
Web マネージャのメニュー構成	15
<u>第4章 Web ベースの製品管理</u>	16
System Function(システム機能)	
Software Reboot (ソフトウェアの再起動)	
Factory Reset(工場出荷時設定へのリセット)	
Image Update(イメージの更新)	
Save Configuration (設定の保存)	
Configuration Update (コンフィクレーションの更新)	
Configuration (コンフィッレーションの設定)	
System Configuration (システムコンフィグレーション)	
SNMP Configuration (SNMP コンフィグレーション)	24
Location Setting(ロケーション設定)	
Redundant Backup Setting(リダンダントバックアップ設定)	
Media Converter Module Settings(メディアコンバータの設定)	27
第 <u>5章 CLIベースの製品管理</u>	28
Basic Commands (基本コマンド)	20
2 (有効なコマンドー覧表示)	
Clear (クリア)	
CPU Reset(CPU リセット)	
Logout(ログアウト)	
Reboot(再起動)	
Reset (リセット)	
Save (保存)	
Update (アックテート) Config Commands (設定コマンド)	32
IPIF (IP インタフェース)	
Media Converter Commands(メディアコンバータコマンド)	
SNMP Commands (SNMP コマンド)	
System Commands (システムコマンド)	
Show Commands (表示コマンド)	
Show command_history(コマンドヒストリロク)	
inow ipii (ir 1 ノブノエース衣示) Show mediaconverter (メディアコンバー々郷亜)	45 15
Show mediaton verter (パワイノコンハーン(NG)	
Show System (システム表示)	
h	rli

гБ

7

はじめに

DMC-1002/JB ユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を例題と共に記述しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面の各パネルと LED 表示について説明します。

第2章 製品の設置

- 製品の基本的な設置方法について説明します。また、本製品の電源接続の方法についても紹介します。

第3章 製品管理の導入

- 本製品の管理オプションおよびコンソールポートまたは Web マネージャへの接続方法などの基本的な製品の管理について説明します。

第4章 Web ベースの製品管理

- Web ベースの管理機能の使用方法について説明します。

- 第5章 CLIベースの製品管理
 - CLI ベースの管理機能の使用方法について説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、特長や技術についての詳細情報を記述します。

警告 警告では、設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

表1に、本マニュアル中での字体、・記号についての表記規則を表します。

表1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
٢J	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に "(13 ページ)をご参照ください。
courier フォント	CLI 出力文字、ファイル名。	(switch-prompt)#
courier 太字	コマンド、ユーザによるコマンドライン入力。	show network
<i>courier</i> 斜体	コマンド項目(可変または固定)。	value
<>	可変項目。<>にあたる箇所に値または文字を入力します。	<value></value>
[]	任意の固定項目。	[value]
[<>]	任意の可変項目。	[<value>]</value>
{}	{}内の選択肢から1つ選択して入力する項目。	{choice1 choice2}
(垂直線)	相互排他的な項目。	choice1 choice2
Menu Name >	メニュー構造を示します。	Device > Port > Port Properties は、「Device」メニューの下
Menu Option		の「Port」メニューの「Port Properties」メニューオプショ
		ンを表しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 本製品について
- サポートする機能
- 前面パネル

本製品について

本製品は、DMC-1000 CPU スロットになるプラグアンドプレイ交換可能モジュールです。DMC-1002/JB は、DMC-1000 に搭載して集中的にメディ アコンバータの設定、監視する機能を提供します。

サポートする機能

- IEEE 802.3u 100BASE-TX 準拠
- IEEE 802.3 10BASE-T 準拠
- IEEE 802.3ab 1000BASE-T
- ・ ホットスワップ:シャーシの電源を落とすことなく管理モジュールの交換が可能
- ・ 以下の MIB のサポート
 - RFC1213 MIB II
 - Enterprise MIBs
- ・ Web ベースインタフェース
- ・ CLI インタフェース
- ・ 状態 LED 表示(Power/Power Fail/Fan Fail/MGM/Console/Link/Act)
- ・オプションの拡張用リダンダント電源と共に16個のコンバータを19インチシステムシャーシに収納可能。
- SNMPv1/v2c/v3

前面パネル

前面パネルには、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート、コンソールポート、および Power / ファン / ポートの Link/Act / 管理の状態を表示する LED を搭載しています。「<u>LED 表示</u>」(10 ページ)の項で詳細の動作について説明します。



図 1-1 前面パネル図

LED 表示

本製品に搭載している LED は以下の通りです。

LED	状態	色	状態説明
Power ON	点灯	緑	電源ユニットが正常に動作しています。
	消灯	-	電源ユニットは動作していません。
Power Fail	点灯	橙	電源ユニットに異常が発生しています。
	消灯	-	電源ユニットは正常です。
Fan Fail	点灯	橙	ファンに異常が発生しています。
	消灯	-	ファンは正常です。
MGM	点滅	緑	DMC-1002/JB(CPU)が正常に動作中です。
	点灯	橙	DMC-1002/JB(CPU) に異常が発生しています。
Console	点滅	緑	コンソールポートからデータを送信中です。
	点滅	橙	コンソールポートで異常が発生しています。
	消灯	-	リンクが確立していません。
Link/Act	点灯	(43)	リンクが確立しています。
	点滅	邴	データを送受信しています。
	消灯	-	リンクが確立していません。

シャーシへの設置例

以下はシャーシに本製品を設置した例です。

DMC-1002	\bigcirc			\odot	\bigcirc		\odot	\odot	\odot
1 2 O-O Power On O-O Power Fail 10/100/1000 O-O Fan Fail									
O Console Link/Act									
D-Link									

図 1-2 DMC-1000 に設置した例



図 1-3 DMC-1000 背面パネル図

第2章 製品の設置

- パッケージの内容
- ネットワーク接続前の準備
- 本製品のシャーシへの取り付け

パッケージの内容

ご購入いただいた製品の梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- 本体
- ・ マニュアル
- ・ RJ45/DB9 コンソールケーブル
- CD-ROM
- ・ PLシート

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、ご購入頂いた代理店までご連絡ください。

ネットワーク接続前の準備

本製品(DMC-1000に搭載)の設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

- ・ 本製品の上に重いものを置かないでください。
- 本製品の周辺で熱の放出と充分な換気ができることを確認してください。換気のためには少なくとも製品の前後16cm以上の空間を保つようにしてください。
- ・ 本製品は動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。
- ・ 本製品は強い電磁場が発生するような場所(モータの周囲など)や、振動、ほこり、および直射日光を避けて設置してください。

本製品のシャーシへの取り付け

1. シャーシの最初のスロットにある DMC-1000 モジュールを DMC-1002/JB に差し替えて管理モジュールを挿入します。(図 2-1 参照)

注意 DMC-1000 の最初のスロットは、常に DMC-1002/JB を搭載するために使用されます。この固有のスロットコネクタデザインのため、DMC-1002/JB はシャーシの他のスロットには取り付けられません。



図 2-1 シャーシへのモジュールの取り付け図

- 2. モジュールの 10/100/1000BASE-T ポートと互換性のあるネットワークケーブルを片方に取り付け、もう片方をルータやスイッチ等のネットワークデバイスに取り付け、モジュールをネットワークに接続します。
- 3. サポートする WEB ブラウザを使用して WEB ベースの管理ユーザインターフェース(UI) にアクセスし、デバイスの初期値 IP アドレスをブラ ウザのアドレスバーに入力します。初期値 IP アドレスは WEB UI またはコマンドラインインターフェース(CLI) を介して変更することができ ます。初期値 IP アドレスを変更した場合は、更新した IP アドレスを使用してモジュールにログインしてください。

参照 接続と WEB UI に関する詳細は、「第4章 Web ベースの製品管理」(16ページ)を参照してください。

4. ターミナルシミュレーションプログラムでコマンドラインインターフェース(CLI)を使用するには、付属の RJ45/DB9 コンソールケーブルを RJ45 ポートの "Console" マークに接続し、シリアル DB9 コネクタを管理 PC に取り付けます。この他、CLI インターフェースはモジュールの IP を使用し Telnet に接続してアクセスすることもできます。

参照 接続とコマンドラインインターフェースに関する詳細は、「第5章 CLIベースの製品管理」(28ページ)を参照してください。

第3章 製品管理の導入

- 管理オプション
- 端末をコンソールポートに接続する
- Web マネージャへのログイン

管理オプション

本製品はコンソールポートを経由した接続や Web ブラウザによっても管理することができます。

Web ベースの管理インタフェース
本製品の設置完了後、Microsoft® Internet Explorer (バージョン 10 以上)、Firefox (Windows 7)、または Chrome (Windows 7) によって本製品の設定および LED のモニタなどの情報をグラフィカルに表示することができます。

- コンソールポートの接続(RJ45 コンソールポート)
 製品の管理のために RJ45 コンソールポートを搭載しています。
 コンソールポートを使用するためには、ターミナルソフトを操作するシリアルポート搭載の端末またはコンピュータをご用意ください。
- SNMP 管理のサポート 本管理モジュールは SNMP マネジメント機能をサポートしています。

端末をコンソールポートに接続する

- 1. 付属のケーブルの RJ45 コネクタを本製品のコンソールポートに接続します。
- ケーブルのもう一方を端末またはターミナルソフトが動作するコンピュータのシリアルコネクタに接続します。以下の手順でターミナルソフト を設定します。
- 3. 「接続の設定」画面の「接続方法」で、適切なシリアルポート(COM ポート)を選択します。
- 4. 選択したポートの「プロパティ」画面で「115200」ビット / 秒にデータ速度を設定します。
- 5. 「データビット」は「8」、「ストップビット」は「1」、「パリティ」は「なし」に設定します。
- 6. 「フロー制御」は「なし」に設定します。
- 7. 「エミュレーションモード」を「VT100」に設定します。
- 8. 「ファンクションキー」、「方向キー」、「Ctrl キー」の使い方で「ターミナルキー」を選択します。「ターミナルキー」(Windows キーではない)の選択を確認します。

端末上で接続に問題が発生した場合は、ターミナルソフトの設定で「エミュレーション」が「VT-100」となっていることを確認してください。「エミュ レーション」は「ハイパーターミナル」画面の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックし、「設定」タブにて設定します。何も表示さ れない場合は本製品の電源を切り再起動してください。

参照 本機能については、「第 5 章 CLI ベースの製品管理」(28 ページ)を参照してください。

Web マネージャへのログイン

本製品の管理を行うには、はじめにコンピュータでブラウザを起動し、本製品に定義した IP アドレスを入力します。ブラウザのアドレスバーに以下のように URL を入力します。





工場出荷時設定では IP アドレス「192.168.1.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」が設定されています。端末側の IP インタフェースを 本製品にあわせるか、本製品を端末側の IP インタフェースにあわせてください。

注意 安全のためにネットワークに接続する前にユーザ名とパスワードを必ず設定してください。

以下のユーザ認証画面が表示されます。

192.168.1.1 へ接続	? 🛛
	E C
configuration のサーバー です。	- 192.168.1.1 にはユーザー名とパスワードが必要
警告: このサーバーは、ユ することを要求しています	ーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信 (安全な接続を使わない基本的な認証)。
ユーザー名(山):	😰 root 💌
パスワード(<u>P</u>):	****
	□パスワードを記憶する(R)
	OK キャンセル

図 3-2 ログイン画面

「ユーザー名」と「パスワード」に「root」を入力し、「OK」をクリックします。Web ベースユーザインタフェースに接続します。 ユーザ名、パスワードを既に設定している場合は、設定した項目を入力します。

Web マネージャの画面構成

Web マネージャで本製品の設定または管理画面にアクセスしたり、パフォーマンス状況やシステム状態を参照できます。

Web マネージャのメイン画面について

Web マネージャのメイン画面は3つのエリアで構成されています。



図 3-3 Web マネージャのメインページ

エリア	機能
エリア1	表示するメニューまたは画面を選択します。メニューアイコンを開いて、ハイパーリンクしたメニューボタンの表示や、それら
	を格納するサブメニューを表示します。
エリア 2	選択した製品情報の表示と設定データの入力が行えます。
エリア 3	本システムの前面パネルを表示します。

Web マネージャのメニュー構成

Web マネージャで設定可能な機能は以下の通りです。

メニュー	説明
System Function	基本的な操作設定の管理とコントロールを行います。
	「Software Reboot」、「Factory Reset」、「Image Update」、「Save Configuration」および「Configuration Update」のサブ
	メニューがあります。
Configuration	「General Configuration」、「System Configuration」、「SNMP Configuration」、「Location Setting」 および「Redundant
	Backup Setting」のサブメニューがあります。
Media Converter Module	メディアコンバータの設定を行います。
Settings	

第4章 Web ベースの製品管理

- System Function (システム機能))
- Configuration (コンフィグレーションの設定)
- Media Converter Module Settings (メディアコンバータの設定)

System Function (システム機能)

基本的な操作設定の管理とコントロールを行います。「Software Reboot」、「Factory Reset」、「Image Update」、「Save Configuration」および 「Configuration Update」の5つのサブメニューがあります。

サブメニューでは以下の設定を行います。

メニュー	説明
Software Reboot	DMC-1002/JB を再起動します。Reboot ボタンをクリックすると DMC-1002 を再起動します。
Factory Reset	DMC-1002/JB およびメディアコンバータの設定を工場出荷時設定に戻します。
Image Update	TFTP サーバからイメージファイルをダウンロードして、イメージファイルを更新します。
Save Configuration	現在のデバイスの設定をデバイスのフラッシュメモリに保存します。
Configuration Update	DMC-1002/JB のコンフィグレーションをアップロードまたはバックアップします。

Software Reboot(ソフトウェアの再起動)

DMC-1002/JB を再起動します。

1. System Function > Software Reboot の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-1 Software Reboot 画面

「Reboot」ボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。 2.



3. 「OK」ボタンをクリックして、DMC-1002/JBを再起動します。



注意 本作業では他のメディアコンバータのモジュールは再起動されません。

Factory Reset(工場出荷時設定へのリセット)

DMC-1002/JB およびメディアコンバータの設定を工場出荷時設定に戻します。

1. System Function > Factory Reset の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

System Functions Chassiss Factory Reset Software Reset Reset Data Lip Labat CPU Factory Reset Software Reset Reset Configurations Reset Configurations Reset Software Reset Reset Configurations Reset Software Reset Reset Configurations Reset Software Reset Reset Configurations Software Reset State Reset Reset Configurations Software Reset State Reset Software Reset S											Med	a Coi	iverte	r Cha	ssis			
Media Converter Information GPU Siet1 Siet2 Siet3 Siet4 Siet5 Siet7 Siet6 Siet10 Siet11 Siet12 Siet14 Siet15 Siet16	 System Function Software Reboot Entersy Reset Entersy Reset Entersy Reset Entersy Reset Save Configuration Configuration Update Configuration System Configuration System Configuration System Configuration System Configuration Excellence Strating Redundant Enclosp Section 										0	CPU F	Factory Reset	/ Reset				
CPU Sixt		100000			an an second			м	edia Con	werter In	formatic						in constant	and the lot
		CPU	Slot1	Slot2	Blot3	Slot4	Blot5	Slot5	Slof7	SlotB	SlotD	Slot10	Blot11	Slot12	Slot13	Slot14	Blot15	Slot16
		D-Link																

図 4-3 Factory Reset 画面

Chassis Factory Reset(システムの工場出荷時設定へのリセット)

すべてのシステム(シャーシ内に設置されているすべてのメディアコンバータ)を初期値に戻します。

- 1. 「Chassis Factory Reset」セクションの「Reset」ボタンをクリックします。
- 2. 確認ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。

注意 本作業では DMC-1002/JB を含むすべてのモジュールを初期値に戻します。

CPU Factory Reset(本製品の工場出荷時設定へのリセット)

CPU (DMC-1002/JB) を初期値に戻します。

- 1. 「CPU Factory Reset」セクションの「Reset」ボタンをクリックします。
- 2. 確認ダイアログで「OK」ボタンをクリックします。





本作業では CPU のみ初期値に戻します。

Image Update(イメージの更新)

TFTP サーバの IP アドレスを入力して DMC-1002/JB のファームウェアを更新します。ファームウェアは、リモート TFTP サーバからイメージファイ ルをダウンロードして更新します。ファームウェアを正常に更新するために、WEB UI 上での他の変更はアップグレードが完了してから行ってくだ さい。アップグレードが完了すると、成功または失敗を示すメッセージが表示されます。システムは自動的にリブートし、再びログイン画面が表示 されます。



デバイスのファームウェアのアップグレードを行うと前のファームウェアバージョンは新しいものに書き換えられます。正しいイメージ ファイルであることを確認の上、行ってください。

1. System Function > Image Update の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-5 TFTP Server Image Update 画面

本画面の項目は以下の通りです。

項目	説明
TFTP Server IP	TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
Image File	ファイル拡張子を含むファームウェアファイルのファイル名を入力します。(例:DMC-1002-0xx.hex)
Update	DMC-1002/JB のファームウェアを更新します。

2. 「TFTP Server IP」に TFTP サーバの IP アドレスおよび「Image File」にイメージファイル名を入力して「Update」ボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



3. 「OK」ボタンをクリックして、イメージファイルの更新を行います。ファイルのシステムへのアップロード中に以下の画面が表示されます。



注意
イメージファイル中にシステムをシャットダウンしないでください。イメージファイル更新後、本製品は再起動を行います。

Save Configuration (設定の保存)

デバイスの現在の設定を保存します。「Save」をクリックすると現在の設定をデバイスのフラッシュメモリに保存します。もう一度「Save」をクリックすると、既存の設定を上書きします。



Configuration Update(コンフィグレーションの更新)

DMC-1002/JBのコンフィグレーションをアップロードまたはバックアップします。「Configuration Upload」は、DMC-1002/JBに対してコンフィグレーションファイルをリストアします。「Configuration Download」は、DMC-1002/JBからコンフィグレーションファイルをバックアップします。

1. System Function > Configuration Update の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

System Practica Configuration Upload Software Rebort Tanget IP : 192:108.1.1 Extense Reset Configuration Fule : Choose rife No file chosen Image Lipidat upload Software Rebort Configuration Fule : Choose rife No file chosen Software Rebort Configuration Fule : Choose rife No file chosen Software Rebort Configuration Download Configuration Download Download Configuration Software file No file chosen Software Rebort Download Configuration Software file No file chosen Software Rebort Download Configuration Software file No file chosen Software Rebort Configuration Configuration Software Rebort Software file No file chosen Configuration Software file No file chosen Software Rebort Download Configuration Software file No file chosen Software Rebort Software file No file chosen		Me	dia Converter Chassis
system relations Target ID : 192 168.1.1 Base Leptan Configuration Fule : Choose file No file chosen Base Leptate Upless Configuration Fule : Choose file No file chosen Base Leptate Upless Configuration Configuration Fule : Choose file No file chosen Start Configuration Configuration Fule : Choose file No file chosen Configuration Configuration Configuration Configuration System Configuration Download System Configuration System Configuration System Configuration Location Stilling	E Duran Durana		Configuration Upload
administration and a setting a setting and a setting a setting and a setting a	System Function Subman Related	Target IP :	192.168.1.1
Lattick upled Upled upled Upled Configuration Download Save Configuration Uplets Configuration Download Configuration Configuration Save Configuration Configuration Save Configuration Save Configuration	Transa Read	Configuration File :	Choose file No file chosen
ampLagant Configuration Download Sover Configuration Update Download Configuration Update Download Configuration Configuration Soverlaad Soverlaad Soverlaad Soverlaad Soverlaad Location Setting Location Setting	- Image Findure		Upload
Configuration Update Download Configuration System Configuration System Configuration System Configuration Database System Configuration Database Location Setting	Save Configuration	c	onfiguration Download
Configuration Configuration System Configuration System Configuration Location Setting	Configuration Update		Download
General Configuration System Configuration System Configuration SNUP Configuration Location Suffing	Configuration		
System Configuration SNNP Configuration Location Setting	General Configuration		
SNMP Configuration Configuration Configuration	System Configuration		
C. Location Setting	SNMP Configuration		
	- Location Setting		
Redundant Backup Setting	Redundant Backup Setting		

図 4-9 Configuration Upload 画面

本画面の項目は以下の通りです。

項目	説明
Target IP	設定ファイルをアップロードする DMC-1002/JB の IP アドレスを入力します。
Configuration File	アップロードするコンフィグレーションファイルを指定します。「参照」ボタンを使用してファイルを選択することができます。
Upload	コンフィグレーションファイルをアップロードします。
Download	コンフィグレーションファイルをダウンロードします。

コンフィグレーションのアップロード

 「Target IP」に設定ファイルをアップロードする DMC-1002/JB の IP アドレスおよび「Configuraion File」にコンフィグレーションファイル名を 指定します。または、「参照」をクリックしてファイルを選択することもできます。「Upload」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセー ジが表示されます。



「OK」ボタンをクリックすると、アップロードが開始します。2. アップロードが完了すると、以下のダイアログが表示されます。



「OK」ボタンをクリックしてアップロードを完了します。

コンフィグレーションのダウンロード

1. 「Download」ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

77110	ダウンロード
20771	(ルを開くか、または保存しますか?
23	名前: set.cfg 種類: Microsoft Office Outlook 構成ファイル, 673 バイト 発信元: 192.168.1.1
2	インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題 を起こすものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保 存したりしないでください。 <u>危険性の説明</u>

図 4-12 ファイルのダウンロード ダイアログ

2. 「保存」ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。

名前を付けて保存		? 🔀
保存する場所①:	🞯 ቻスクトップ 💌 🔇 🎓 📂 📰・	
していたしていたしています。 最近使ったファイル	 □ マイドキュメント □ マイ コンピュータ □ マイ ネットワーク 	
です デスクトップ		
ک ۲۲ ۴ キ یا ۲۲		
ער דאר דא אר בארב אד		
マイ ネットワーク	ファイル名(M): set.cfg	
	ファイルの種類(T): Microsoft Office Outlook 構成ファイル マ キャンセ	и—) :

図 4-13 ファイル名指定画面

保存先とファイル名を指定して、コンフィグレーションファイルのアップロードを行います。

3. ダウンロードが終了すると「ダウンロードの完了」画面が表示されます。

ダウンロードの完了	
عرفة 🔧	ードの完了
192.168.1.1 - set.cfg	
(
ダウンロード	673 バイト / 1 秒
ダウンロード先:	C:¥Documents and Settings¥yu¥set.cfg
転送率:	673 バイト/秒
□ダウンロードの完了	後、このダイアログボックスを閉じる(C)
	ファイルを駅(Q) フォルダーを駅(E) 閉じる 閉じる

図 4-14 ダウンロードの終了 ダイアログ

「閉じる」ボタンをクリックしてダウンロードを終了します。

Configuration(コンフィグレーションの設定)

コンフィグレーションの設定を行います。「General Configuration」、「System Configuration」、「SNMP Configuration」、「Location Setting」、および「Redundant Backup Setting」のサブメニューがあります。

メニュー	説明
General Configuration	ユーザ資格の変更や基本デバイス情報の変更を行います。
System Configuration	IP アドレスなどのシステムの設定を行います。
SNMP Configuration	SNMP コンフィグレーションの設定を行います。
Location Setting	シャーシ内の各スロットの位置を指定することができます。
Redundant Backup Setting	リンク異常が発生した場合にマスタラインからスレーブラインに変更します。

General Configuration (全般的なコンフィグレーション)

- ユーザ資格の変更や基本デバイス情報の変更を行います。
- **1.** Configuration > General Configuration の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
木面面の項目に	+IV下の通りう	べす
		C 7 0

項目	説明
Hardware revision	DMC-1002/JB のハードウェアバージョンを表示します。
BIOS revision	DMC-1002/JB の現在の BIOS バージョンを表示します。
Firmware revision	DMC-1002/JB の現在のファームウェアバージョンを表示します。
Old Password	ログインパスワードを変更します。初期値は「root」です。
Change Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のために新しいパスワードを再入力します。
System Name	DMC-1002/JB のシステム名を指定します。

項目	説明
Location	DMC-1002/JB の設置場所を示します。
Refresh time	WebUIの下部のコンバータのステータスを自動的にリフレッシュする割合を設定します。Never、10秒、30秒、1分、5分から選択します。
Save	本メニューで行った変更を保存します。

2. 情報入力後、「Save」ボタンをクリックします。

System Configuration(システムコンフィグレーション)

IP アドレスなどのシステムの設定を行います。

1. Configuration > System Configuration の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-16 System Configuration 画面

本面面の項目は以	下の通りです。
千回回り分口の外	

項目	説明
MAC Address	DMC-1002/JB の MAC アドレスを表示します。
IP Address	DMC-1002/JB に IP アドレスを割り当てます。IP アドレスの初期値は 192.168.1.1 です。IP アドレスを変更すると、現在
	のセッションが切断されることに注意してください。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。初期値は 255.255.255.0 です。
Default Gateway	ゲートウェイアドレスを設定します。初期値は 0.0.0.0 です。
Save	本メニューで行った変更を保存します。

2. 情報入力後、「Save」ボタンをクリックします。

SNMP Configuration (SNMP コンフィグレーション)

SNMP コンフィグレーションの設定を行います。

1. Configuration > SNMP Configuration の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

Latentity Sector Cold Start Trap: Cocked Visable Warm Start Trap: Enabled Disabled Image Could granting Fam Fail Trap: Enabled For Could granting Enabled Disabled Disabled </th <th>Later Discrete Later Discrete Cold Start Trap: © recorded Vesame Warm Start Trap: © recorded Non-Net Fail Trap: © recorded Decorded Decorded<</th> <th>System Function</th> <th>-</th> <th>Set Comm</th> <th>unity Name nunity Nam</th> <th>public re: public</th> <th>ledia Co SNMP</th> <th>nverte Configu Ser (Trap</th> <th>r Chass ration Communit Host IP A</th> <th>SIS y Name : uddress :</th> <th>privati 192.1</th> <th>e 68.1.2</th> <th></th> <th></th>	Later Discrete Later Discrete Cold Start Trap: © recorded Vesame Warm Start Trap: © recorded Non-Net Fail Trap: © recorded Decorded Decorded<	System Function	-	Set Comm	unity Name nunity Nam	public re: public	ledia Co SNMP	nverte Configu Ser (Trap	r Chass ration Communit Host IP A	SIS y Name : uddress :	privati 192.1	e 68.1.2		
SYMPHIC CONSTRAINED	Source Configuration Source Source Configuration Source Source Configuration Source Redunchast Backup Secting	Lacture Resel		Cold Start Authentica Fan Fail Tr MC Pullou MC Link U MC Active Frap :	Trap : tion Fail Tra rap : f Trap : Jp Trap : Slot Xchg	Enable Enable Enable Enable Enable Enable	Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable Oteable	d War d Pow d MC d MC d MC d MC d MC	m Start Tri er Fail Tra Plugin Tra Broken Tr Link Dow Active Slo	np: p: np: ap: n Trnp: nt Lose	 Er Er Er Er Er 	nabled nabled nabled nabled nabled	Dis Dis	abled abled abled abled abled abled

図 4-17 SNMP Configuration 画面

本画面の項目は以下の通りです。

項目	説明
Get Community Name	読み取り専用の SNMP コミュニティパスワードを設定します。初期値は「public」です。
Set Community Name	読み書き可能な SNMP コミュニティパスワードを設定します。
Trap Community Name	SNMP トラップを送信する SNMP コミュニティパスワードを設定します。初期値は「private」です。
Trap Host IP Address	クライアントからの SNMP トラップを受信する SNMP トラップホストサーバの IP アドレスを入力します。初期値は
	「192.168.1.2」です。
Cold Start Trap	メディアコンバータが Cold Start した際に NMS に通知します。最初にデバイスを起動したときもしくは、工場出荷時設
	定にリセットした後に起動したとき、Cold Start とみなされます。
Warm Start Trap	メディアコンバータが Warm Start した際に NMS に通知します。Cold Start として指定した以外のあらゆる状態でデバイ
	スを起動すると Warm Start として扱われます。
Authentication Fail Trap	クエリデバイスのコミュニティ名と NMS のコミュニティ名が合致しない場合、NMS に通知します。
Power Fail Trap	電源異常の場合に NMS に通知します。
Fan fail Trap	シャーシのファンに異常が起こった場合に NMS に通知します。
MC Plug-in Trap	メディアコンバータ挿入時に NMS に通知します。
MC Pullout Trap	メディアコンバータ取り外した時に NMS に通知します。
MC Broken Trap	メディアコンバータが壊れた場合に NMS に通知します。
MC Link up Trap	メディアコンバータのリンクステータスがダウンからアップに変わった場合に NMS に通知します。
MC Link down Trap	メディアコンバータのリンクステータスがアップからダウンに変わった場合に NMS に通知します。
MC Active Slot Xchg Trap	リダンダントグループ内のアクティブスロットが別のスロット(マスタからスレーブもしくは、スレーブからマスタ)に
	切り替わったとき、NMS に通知します。
MC Active Slot Lose Trap	リダンダントグループ内のアクティブスロットの変更がある場合に、NMS に通知します。しかし、設定したマスタとスレー
	ブスロットの両方が利用不可の場合、トラフィックを引き継ぐスロットはありません。
Save	本メニューで行った変更を保存します。

2. 情報を入力後、「Save」ボタンをクリックします。

Location Setting (ロケーション設定)

シャーシ内の各スロットの位置を指定することができます。設置するメディアコンバータがなくなった場合はいつでも変更することができます。

1. Configuration > Location Setting の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-18 Location Setting 画面

2. ロケーション入力後、「Save」ボタンをクリックすると以下の確認ダイアログが表示されます。



「OK」ボタンをクリックします。

Redundant Backup Setting(リダンダントバックアップ設定)

シャーシ内のリダンダントグループを設定することができます。リダンダントグループは、1つがアクティブインタフェース(マスタ)、もう一方 がスタンバイ(スレーブ)として動作するメディアコンバータのペアです。アクティブインタフェースが故障もしくは利用不可になると、バックアッ プインタフェースがトラフィックを処理し始めます。DMC-1000は8つまでのリダンダントグループをサポートし、DMC-1002/JBで設定すること ができます。

1. Configuration > Redundant Backup Setting の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。



図 4-20 Redundant Backup Setting 画面

本画面の項目は以	下の通り	です。

項目	説明
Group (1 \sim 8)	リダンダントグループの ID メンバを表示します。
Enable/Disable	リダンダントグループを有効化もしくは無効かします。
Act	各リダンダントグループの現在のアクティブスロットの番号を表示します。利用可能なアクティブスロットがない場合、 もしくは、リダンダントグループが無効化された場合にアスタリスク「*」が表示されます。
Master	リダンダントグループのプライマリアクティブインターフェースです。リストされた番号はマスタとして指定された シャーシのスロットを示します。
Slave	リダンダントグループのスタンバイインターフェースです。リストされた番号はスレーブとして指定されたシャーシのス ロットを示します。
Restart	リダンダントグループ内のメディアコンバータを再起動することができます。
Save	本メニュー内で行った変更を保存します。

2. スレーブスロットがアクティブでマスタスロットに再度変更する必要がある場合、「Restart」をチェックすると、以下の確認ダイアログが表示 されます。



図 4-21 バックアップ開始確認ダイアログ

3. 「OK」ボタンをクリックすると、以下の確認ダイアログが表示されます。



「OK」ボタンをクリックします。

注意 リダンダント機能はメディアコンバータの機種に依存します。

Media Converter Module Settings (メディアコンバータの設定)

WEB UI の下にあるバナーのインタラクティブコンバータイメージをクリックすると、個々のコンバータモジュールの設定メニューが表示されます。 このメニューを使用し、メディアコンバータモジュールの有効性、スピード、トラブルシューティング機能などの項目を設定を行います。DMC-1002/JB イメージをクリックすると、シャーシの電源装置とファンの状態の概要を表示します。



図 4-23 Media Converter Module Setting 画面

メニューでは以下の設定を行います。

メニュー	説明
Device Link Setup	選択したメディアコンバータを有効または無効に設定します。
LLCF	サポートされている場合、メディアコンバータのリンクロスキャリーフォワード(LLCF)トラブルシューティング機
	能を有効または無効に設定します。
M1 Link Setup	メディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートを有効または無効に設定します。
M2 Link Setup	メディアコンバータ(M2)の2番目のメディアインターフェースポートを有効または無効に設定します。
M1 AN Setup	メディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートのオートネゴシエーションを有効または無効に
	設定します。
M1 Speed Setup	メディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートのスピードを10M、100Mまたは1Gに設定します。
	設定値はディアコンバータの仕様に依存します。
M1 DUP Setup	メディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートのデュプレックスを、HALF (half-duplex)
	または FULL (full-duplex) に設定します。
M2 DUP Setup	メディアコンバータ(M2)の二番目のメディアインターフェースポートのデュプレックスを、HALF (half-duplex)
	または FULL (full-duplex) に設定します。
M1 FC Setup	メディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートのフローコントロール(FC)を有効もしくは無
	効に設定します。
M2 LLR Setup	サポートされている場合、メディアコンバータ(M2)の二番目のインターフェースポートのリンクロスキャリーリター
	ン(LLR)トラブルシューティング機能を有効または無効に設定します。

第5章 CLIベースの製品管理

- Basic Commands(基本コマンド)
- Config Commands (設定コマンド)
- Show Commands (表示コマンド)

DMC-1002/JB の管理インタフェースは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを使用したコマンドラインインタフェースを介して、アクセス することができます。CLI メニューは Telnet 経由で初期値 IP アドレス「192.168.1.1」に接続し、初期値のユーザ名、パスワード "root" を入力し、ア クセスすることができます。ウェブ UI 上で以前にモジュールの IP アドレスを変更した場合、この IP アドレスを代わりに入力し CLI にアクセスして ください。

CLI は付属のコンソールケーブルを使用して "Console" 印のポートに接続することにより、DMC-1002/JB のシリアルポートを使用してアクセスする ことができます。コンソールケーブルのもう片方をターミナルエミュレーションソフトウェアが動作している管理 PC のシリアルポートに接続しま す。

CLI にアクセスするには、ターミナルソフトウェアの設定値を「ボーレート:115200」「8 データビット」「1 ストップビット」「パリティ:なし」「フ ローコントロール:なし」にする必要があります。

以下は、それぞれのコマンドの詳細です。

- ・ 説明:コマンドと機能の概要です。
- 構文:エミュレーションインターフェースに入力が必要な構文のリストです。ドキュメント全体に渡り、構文は次の例に従って表示されます。入 カコマンドは、太字で示しています。インターフェースの上矢印キーを押して最後に入力したコマンドを表示します。TAB キーを押と、有 効コマンドオートコンプリーションを繰り返します。

コマンド例:DMC-1002:5# config mediaconverter redundantgrp <integer 1-8> [enable | disable | restart]

- かぎ括弧(<>)は、ユーザによる有効値の入力を示します。例:<*ip_addr*> この場合、有効な IP アドレスの値の入力を示します。また、 かぎ括弧(<>)は、リスト範囲にも使用されます。例:<*integer 1-8*> この場合、指定された範囲(1~8)以内での値の入力を示 します。
- 角括弧([])は、特定のコマンドに対して有効な値を示します。コマンドが複数の値を持つ場合、構文はすべての有効なオプションをパイプ() で区切りリストされます。
- パイプ () は、シングルコマンドに対する異なる値を示します。例: [enable | disable | restart] この場合、コマンドは enable、 disable、または restart の値の入力により完了します。
- ・ 表:構文に関する全ての有効な値や機能の説明を示します。
- 例:コマンドの指示例は必要な際にインターフェースのアプリケーションで説明されます。特にモジュールへの IP アドレスの割り当てまたはデバイス名の定義など、カスタム文字列の入力が必要な際にコマンドに適用します。

Basic Commands (基本コマンド)

リセット、リブート、ファームウェアのアップデート操作などの全ての基本システムコマンドについて説明します。

? (有効なコマンド一覧表示)

説明

すべての有効なコマンドラインを表示します。下図 5-1 はインターフェースに表示されるコマンドの概観です。

構文



図 5-1 メイン画面

Clear (クリア)

説明

アクティブスクリーンから前回の入力を削除して CLI ワークスペースをクリアします。

注意 本コマンドは前回の入力に対し永久的な削除を行うものではありません。前回のエントリログは、ターミナルエミュレーションプログラム をスクロースアップすることにより表示できます。

構文

DMC-1002:5# clear

CPU Reset (CPU リセット)

説明

DMC-1002/JB を工場出荷時の設定にリセットします。本コマンドを入力すると、"y" または "n" を入力してモジュールをリセットしたいかの確認が 表示されます。

構文

DMC-1002:5# cpureset

例

CPU を工場出荷時の設定に復元します。

DMC-1002:5# cpureset

Command: cpureset

Are you sure you want to proceed with the cpu factory reset?(y/n)

Logout (ログアウト)

説明

CLI インターフェースからユーザをログアウトします。本コマンド入力後 "Enter" キーを押すと、確認画面は表示されず自動的にユーザをログアウト します。

構文

DMC-1002:5# logout

Reboot (再起動)

モジュールをリブートします。本コマンドを入力すると、yまたはnを入力してモジュールを再起動をしたいかの確認が表示されます。

構文

DMC-1002:5# **reboot**

例

モジュールをリブートします。

DMC-1002:5# reboot Command: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot? $\left(y/n\right)$

Reset (リセット)

説明

DMC-1002/JB 管理モジュールとすべてのメディアコンバータを工場出荷時の設定にリセットします。本コマンドを入力する際、y または n を入力してリセットするかの確認が表示されます。

構文

DMC-1002:5# **reset**

例

全てのデバイスを工場出荷時の設定に復元します。

DMC-1002:5# reset Command: reset

Are you sure you want to proceed with the factory reset? $\left(y/n\right)$

Save (保存)

説明

モジュールの現在の設定を保存します。このコマンド操作を完了すると、インターフェースは設定が保存されたこと示す "Success"を表示します。

構文

DMC-1002:5# save config

Update (アップデート)

説明

リモート TFTP サーバを介してモジュールのファームウェアを更新します。アップデートが完了するとシステムは自動的に再起動します。

構文

DMC-1002:5# update <ipaddr><path filename 64>

パラメータ

パラメータ	説明
ipaddr	ファームウェアファイルがダウンロードされる TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
path filename 64	拡張子付きファームウェアファイル名(最大 64 文字以内)を入力します。

例

リモート TFTP を使用してファームウェアをアップデートします。

```
Command: update

Next possible completions :

<ipaddr>

DMC-1002:5# update 192.168.1.2

Command: update 192.168.1.2

Next possible completions :

<path_filename 64>

DMC-1002:5# update 192.168.1.2 DMC-1002-2-03-FW.hex

Command: update 192.168.1.2 DMC-1002-2-03-FW.hex

System will reboot immediately after update image complete, continue? (y/n)y

Connecting to Server...... Done

Transfer firmware..... Done. Do not power off!!

Upgrade processing...... Done

Firmware upgrade successfully!

Success.
```

Config Commands (設定コマンド)

IPIF (IP インタフェース)

説明

DMC-1002/JB モジュールの IP アドレスを設定します。初期値 IP アドレス(192.168.1.1)をユーザー固有のものに変更します。 新しい IP アドレスを割り当てると、管理ツールは更新された IP アドレスを使用してアクセスできます。

注意 モジュールの IP アドレスを変更すると現在のセッションは終了し、ユーザは切断されます。

構文

DMC-1002:5# config ipif system ipaddress <ip_addr>

パラメータ

パラメータ	説明
ip_addr	管理モジュールに割り当てる有効な IP アドレスを入力します。

Media Converter Commands (メディアコンバータコマンド)

説明

以下のセクションに記載されているコマンドは、インストールされたメディアコンバータとリダンダントグループの機能性と有効性を制御します。

Redundant Groups Commands (リダンダントグループ)

設定するリダンダントグループを選択します。各リダンダントグループは、2つのメディアコンバータスロットから構成され、トータルで8つのリ ダンダントグループを構成することができます。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter redundantgrp <integer 1-8>

パラメータ

パラメータ	説明
integer 1-8	設定をするリダンダントグループ(1~8)の番号を入力します。

Disable, Enable, or Restart Redundancy Groups (リダンダントグループの有効 / 無効 / リスタート)

選択したリダンダントグループを無効、有効、または再起動します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter redundantgrp <integer 1-8> [enable | disable | restart]

パラメータ	説明
enable	選択したリダンダントグループを有効にします。
disable	選択したリダンダントグループを無効にします。
restart	選択したリダンダントグループを再起動します。

Config Mediaconverter Slot Commands (メディアコンバータスロット設定)

説明

設定するメディアコンバータスロット(1~16)を選択します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16>

パラメータ

パラメータ	説明
integer 1-16	選択をするメディアコンバータ(1~16)のスロット番号を入力します。

例

メディアコンバータスロット1を選択します。

```
DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16>

Command: config mediaconverter slot

Next possible completions :

<integer 1-16>

DMC-1002:5# config mediaconverter slot 1

Command: config mediaconverter slot 1

Next possible completions :

name Device_LLCF Device_Enable M1_LLR

M1_Auto M1_Speed M1_Dup M1_FC

M1_Enable M2_LLR M2_Auto M2_Dup

M2_Enable

DMC-1002:5#
```

Name(メディアコンバータスロット名)

説明

シャーシの選択したスロットの名前を付け替えます。スロットにインストールされたメディアコンバータモジュールが無い場合でもいつでも名前の 付け替えが可能です。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> name <string 7>

パラメータ

メニュー	説明
string 7	選択したシャーシスロットに有効な名前(最大7文字)を入力します。

例

スロット1の名前を "MCtest1" に付け替えます。

```
DMC-1002:5# config mediaconverter slot 1 name
Command: config mediaconverter slot 1 name
Next possible completions :
<string 7>
DMC-1002:5# config mediaconverter slot 1 name MCtest1
Command: config mediaconverter slot 1 name MCtest1
Success.
```

Device Link Loss Carry Forward (LLCF) (LLCF 設定)

説明

選択したメディアコンバータの LLCF (Link Loss Carry Forward)トラブルシューティング機能を制御します。接続されたデバイスとメディアコンバー タ間のツイストペア(TP)接続が切れた場合、コンバータのファイバポートは伝送リンクの接続を切断します。これにより受信側のメディアコン バータは、対向側の接続の問題を認識します。同様に、ファイバポートへのシグナルが失われた場合、メディアコンバータは TP リンクを切断します。 リンクロスシグナルが管理ステーションに運ばれるため、管理者は容易に問題の原因を特定できます。LLCF 機能は初期値で有効です。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> Device_LLCF [V | X]

パラメータ

メニュー	説明
V	選択したメディアコンバータの LLCF を有効にします。
Х	選択したメディアコンバータの LLCF を無効にします。

Device Enable (メディアコンバータ有効)

説明

選択したスロットにインストールされたメディアコンバータを有効または無効にします。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> Device_Enable [V | X]

パラメータ

メニュー	説明
V	選択したメディアコンバータを有効にします。
Х	選択したメディアコンバータを無効にします。

M1_LLR

説明

選択したメディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートの Link Loss Return (LLR) トラブルシューティング機能を設定します。 本機能は 1000 Mbps メディアコンバータモジュールでのみ利用可能です。デバイスとメディアコンバータ間で接続されたファイバリンクが切れた 場合、コンバータのファイバポートは伝送を停止し、'no link' シグナルをリンクされたパートナーデバイスに返します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_LLR [V | X]

パラメータ

メニュー	説明
V	メディアコンバータ (M1) の LLR を有効にします。
Х	メディアコンバータ (M1) の LLR を無効にします。

M1_Auto

説明

選択したメディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートのデータ転送ネゴシエーション方法を設定します。潜在的な衝突を避けるためには、接続された両方のデバイスが同じ値で設定されていることが重要です。例えば、メディアコンバータ A が "forced" に設定されている場合、接続されたパートナデバイス B もまた "forced" に設定されている必要があります。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_Auto [A | F]

メニュー	説明
A	メディアコンバータ (M1) を "Auto-Negotiation" に設定します。
F	メディアコンバータ (M1) を "Forced" に設定します。

M1_Speed

説明

選択したメディアコンバータ(M1)の最初のメディアインターフェースポートのデータ転送スピードを設定します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_Speed [10M | 100M | 1G]

パラメータ

メニュー	説明	
10M	メディアコンバータ (M1) を 10 Mbps に設定します。	
100M	メディアコンバータ (M1) を 100 Mbps に設定します。	
1G	メディアコンバータ (M1) を 1000 Mbps に設定します。	

例

```
スロット1のメディアコンバータ(M1)の転送スピードを 100M に設定します。
```

DMC-1002:5#	DMC-1002:5# config mediaconverter slot 1 M1_Speed			
Command: co	Command: config mediaconverter slot 1 M1_Speed			
Next possib	le completions :			
10M	100M	lG		
DMC-1002:5# config mediaconverter slot 1 M1_Speed 100M Command: config mediaconverter slot 1 M1_Speed 100M				

M1_Dup

説明

選択したメディアコンバータ (M1)の最初のメディアインターフェースポートのデュプレックスモードを設定します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_Dup [F | H]

パラメータ

メニュー	説明
F	メディアコンバータ (M1) の動作を "full-duplex" に設定します。
Н	メディアコンバータ (M1) の動作を "half-duplex" に設定します。

M1_FC

説明

メディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートのフロー制御(FC)を設定します。フロー制御はポート間のデータフローを規 制します。このため、すべてのデータは効率的なレートで伝送されます。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_FC [V | X]

メニュー	説明	
V	メディアコンバータ (M1) のフロー制御を有効にします。	
Х	メディアコンバータ (M1) のフロー制御を無効にします。	

M1_Enable

説明

選択したメディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートの有効性を設定します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M1_Enable [V | X]

パラメータ

メニュー	説明
V	メディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートを有効にします。
Х	メディアコンバータ (M1) の最初のメディアインターフェースポートを無効にします。

M2_LLR

説明

選択されたメディアコンバータ (M2) の二番目のメディアインターフェースポートの Link Loss Return (LLR) トラブルシューティング機能を設定しま す。本機能は 1000 Mbps メディアコンバータでのみ利用可能です。デバイスとメディアコンバータ間で接続されたファイバリンクが切れた場合、 コンバータのファイバポートは伝送を停止し、'no link' シグナルをリンクされたパートナーデバイスに返します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M2_LLR [V | X]

パラメータ

メニュー		
V	メディアコンバータ (M2) の LLR をを有効にします。	
X	メディアコンバータ (M2) の LLR をを無効にします。	

M2_Auto

説明

選択したメディアコンバータ (M2) の二番目のメディアインターフェースポートのデータ転送ネゴシエーション方法を設定します。潜在的な衝突を 避けるためには、接続された両方のデバイスが同じ値で設定されていることが重要です。例えば、メディアコンバータ A が "forced" に設定されてい る場合、接続されたパートナデバイス B もまた "forced" に設定されている必要があります。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M2_Auto [A | F]

パラメータ

メニュー	説明
А	メディアコンバータ (M2) を "Auto-Negotiation" に設定します。
F	メディアコンバータ (M2) を "Forced" に設定します。

M2_Dup

説明

選択したメディアコンバータ (M2)の二番目のメディアインターフェースポートのデュプレックスモードを設定します。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M2_Dup [F + H]

メニュー	
F	メディアコンバータ (M2) の動作を "full-duplex" に設定します。
Н	メディアコンバータ (M2) の動作を "half-duplex" に設定します。

M2_Enable

説明

選択したメディアコンバータ (M2) の二番目のメディアインターフェースポートを有効または無効にします。

構文

DMC-1002:5# config mediaconverter slot <integer 1-16> M2_Enable [V | X]

パラメータ

メニュー	説明
F	メディアコンバータ (M2) の二番目のメディアインターフェースポートを有効にします。
Н	メディアコンバータ (M2) の二番目のメディアインターフェースポートを無効にします。

SNMP Commands (SNMP コマンド)

Authfail_trap(自動フェイルトラップ)

説明

シャーシシステムの認証トラップを設定します。認証トラップは、SNMP サーバと DMC-1002/JB (CPU) のコミュニティパスワードが一致しなかった 場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp authfail_trap [enable | disable]

パラメータ

メニュー	説明
enable	認証トラップを有効にします。
disable	認証トラップを無効にします。

Coldstart_trap (Cold Start トラップ)

説明

シャーシシステムの Cold Start トラップを設定します。Cold Start トラップは、メディアコンバータが Cold Start を行った場合に NMS に通知を送り ます。最初にデバイスを起動したときもしくは、工場出荷時設定にリセットした後に起動したとき、Cold Start とみなされます。

構文

DMC-1002:5# config snmp coldstart_trap [enable | disable]

パラメータ

メニュー	説明
enable	Cold start トラップを有効にします。
disable	Cold start トラップを無効にします。

Fanfail_trap (ファン異常トラップ)

説明

シャーシシステムのファン Fail トラップを設定します。ファン Fail トラップは、シャーシのファンに異常があった場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp fanfail_trap [enable | disable]

メニュー	説明
enable	ファン Fail トラップを有効にします。
disable	ファン Fail トラップを無効にします。

Get_Communityname (コミュニティパスワード設定)

説明

読み取り専用権限の SNMP コミュニティパスワードを設定します。初期値は "public" です。初回時モジュールへの接続の際に変更することを推奨します。



🗟 コミュニティ名は大文字小文字を区別します。

構文

DMC-1002:5# config snmp get_communityname <community_string 31>

パラメータ

メニュー	説明
community_string 31	新しい読み取り専用コミュニティパスワードを入力します。コミュニティ名は最大 31 文字で初期値は "public" です。

例

コミュニティーパスワードを "TestPu" に設定します。

Command: config snmp get_communityname
Next possible completions : <community_string 31=""></community_string>
DMC-1002:5# config snmp get_communityname TestPu
Command: config snmp get_communityname ******

MCactiveslotLOSE_trap(メディアコンバータアクティブスロットロストラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータのアクティブスロットロストラップを設定します。アクティブスロットロストラップは、リダンダントグループのアクティブスロットがマスタからスレーブまたは、スレーブからマスタへステータスを変更し、グループに引き継ぐアクティブスロットがいない場合に NMS に通知を送ります。

例えば、リダンダントグループ1のマスタスロットに対応するメディアコンバータスロットが故障した場合、またはシャーシシステムを介して無効 になっている場合、グループ1のスレーブスロットが引き継ぎます。しかしながら、スレーブスロットも、(故障、または無効になっていることで) 使用できない場合、マスタースレーブは引き継ぐことはできず、activeslotLOSE トラップシグナルが NMS に送信されます。

構文

DMC-1002:5# config snmp mcactiveslotLOSE_trap <enable | disable>

メニュー	説明
enable	アクティブスロットロストラップを有効にします。
disable	アクティブスロットロストラップを無効にします。

MCactiveslotXCHG_trap (メディアコンバータアクティブスロット交換トラップ)

説明

シャーシシステムのスロット交換トラップを設定します。本トラップは、リダンダントグループのアクティブスロットがマスタスロットからスレー ブスロットまたは、スレーブスロットからマスタスロットに変更した場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp mcactiveslotXCHG_trap < enable | disable>

パラメータ

メニュー	説明
enable	メディアコンバータの交換トラップを有効にします。
disable	メディアコンバータの交換トラップを無効にします。

MCbroken_trap(メディアコンバータ故障トラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータ Failure トラップを設定します。本トラップは、アクティブスロットのメディアコンバータに異常または故 障した場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp mcbroken_trap <enable | disable>

パラメータ

メニュー	説明
enable	メディアコンバータの Failure トラップを有効にします。
disable	メディアコンバータの Failure トラップを無効にします。

MClinkdown_trap(メディアコンバータリンクダウントラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータリンクダウンステータストラップを設定します。リンクトラップは、メディアコンバータのインターフェー スの状態が "link up" から "link down" に変更した場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp mclinkup_trap <enable | disable>

パラメータ

メニュー	説明
enable	メディアコンバータのリンクダウントラップを有効にします。
disable	メディアコンバータのリンクダウントラップを無効にします。

MClinkup_trap(メディアコンバータリンクアップトラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータリンクアップステータストラップを設定します。リンクトラップは、メディアコンバータのインターフェー スの状態が "link down" から "link up" 変更した場合に NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp mclinkup_trap <enable | disable>

メニュー	説明
enable	メディアコンバータのリンクアップトラップを有効にします。
disable	メディアコンバータのリンクアップトラップを無効にします。

MCplugin_trap(メディアコンバータプラグイントラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータプラグイントラップを設定します。メディアコンバータがシャーシにインストールされたときにプラグイン トラップが NMS に通知を送信します。

構文

DMC-1002:5# config snmp mcplugin_trap <enable | disable>

パラメータ

メニュー	説明
enable	メディアコンバータのプラグイントラップを有効にします。
disable	メディアコンバータのプラグイントラップを無効にします。

MCpullout_trap(メディアコンバータプルアウトトラップ)

説明

シャーシシステムのメディアコンバータプルアウトトラップを設定します。プルアウトトラップは、メディアコンバータモジュールがシャーシから 取り外されるたびに NMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp mcpullout_trap <enable | disable>

パラメータ

メニュー	説明
enable	メディアコンバータのプラグアウトラップを有効にします。
disable	メディアコンバータのプラグアウトラップを無効にします。

Powerfail_trap(電源異常トラップ)

説明

シャーシシステムのパワーフェイルトラップを設定します。パワーフェイルトラップは、シャーシの電源の1つに問題が発生した場合は常にNMS に通知を送ります。

構文

DMC-1002:5# config snmp powerfail_trap <enable | disable>

メニュー	説明
enable	パワーフェイルトラップを有効にします。
disable	パワーフェイルトラップを無効にします。

Set_communityname (SNMP コミュニティパスワード設定)

説明

読み書き権限の SNMP コミュニティパスワードを設定します。 初期値は "private" です。 初回時モジュールへの接続の際に変更することを推奨します。

注意 コミュニティ名は大文字小文字を区別します。

構文

DMC-1002:5# config snmp set_communityname <community_string 31>

パラメータ

メニュー	説明
community_string 31	新しい読み書きコミュニティパスワードを入力します。コミュニティ名は最大 31 文字で初期値は "private" です。

例

コミュニティーパスワードを "TestPr" に設定します。

Command: config snmp set_communityname

```
Next possible completions :
<community_string 31>
```

DMC-1002:5# config snmp set_communityname TestPr Command: config snmp set_communityname ******

Trap_communityname (SNMP トラップコミュニティパスワード)

説明

SNMP トラップホストサーバとの通信を行うコミュニティパスワードを定義します。

注意 コミュニティ名は大文字小文字を区別します。

構文

DMC-1002:5# config snmp trap_communityname <community_string 31>

パラメータ

メニュー	説明
community_string 31	新しいコミュニティパスワードを入力します。コミュニティ名は最大 31 文字です。

例

トラップコミュニティーパスワードを "TestTr" に設定します。

```
Command: config snmp trap_communityname
Next possible completions :
<community_string 31>
DMC-1002:5# config snmp trap_communityname TestTr
Command: config snmp trap_communityname ******
```

Trap_hostip(トラップホスト IP 設定)

説明

クライアントデバイスから SNMP トラップ通知を受信する監視システムの IP アドレスを定義します。

構文

DMC-1002:5# config snmp trap_hostip paddr>

パラメータ

メニュー	説明
ipaddr	ネットワーク管理システム(NMS)の IP アドレスを入力します。

Warmstart_trap (Warmstart トラップ)

説明

シャーシシステムの Warm Start トラップを設定します。Warm Start トラップは、メディアコンバータが Warm Start を行った場合に NMS に通知を 送ります。Cold start として指定されている以外のあらゆる状態でのデバイスの起動は Warm Start として扱われます。

構文

DMC-1002:5# config snmp warmstart_trap <enable | disable>

メニュー	説明
enable	Warm Start トラップを有効にします。
disable	Warm Start トラップを無効にします。

System Commands (システムコマンド)

説明

システムコマンドは管理モジュールの基本設定を行うことを許可するオプションセットです。本セクションでは、デバイスロケーションの追加、デバイス名の変更、システムパスワードの変更、リフレッシュ間隔の変更を説明します。

Location(管理モジュールロケーション)

管理モジュールのロケーションを定義します。

構文

DMC-1002:5# config system location <string 31>

パラメータ

メニュー	説明
string 31	モジュールのロケーション名(最大 31 文字)を入力します。

例

ロケーションを "test_office" モジュールに追加します。

DMC-1002:5# config system location Command: config system location

Next possible completions :

<string 31>

DMC-1002:5# config system location test_office Command: config system location test_office

Name(ホスト名)

説明

DMC-1002/JB のホスト名を変更します。

注意 デバイス名にスペースを含むことはできません。

構文

DMC-1002:5# config system name <string 31>

パラメータ

メニュー	説明
string 31	新しいモジュール名(最大 31 文字)を入力します。

例:管理モジュール名を "Testmodule1" に変更します。

Command: config system name	
Next possible completions : <string 31=""></string>	
DMC-1002:5# config system name Testmodule1 Command: config system name Testmodule1	
Success.	

Passwd (ログインパスワード)

説明

管理モジュールにログインする際のパスワードを変更します。他のコマンドは異なり、本コマンドを入力すると、即座に現在のパスワードの入力を 促されます。現在のパスワードを入力後、大文字小文字を区別する新しいパスワードの入力と確認を求められます。パスワードの変更に成功した後、 セッションは自動的にリセットされ、更新した資格情報での再ログインを要求されます。

構文

DMC-1002:5# config system passwd

例

管理モジュールのパスワードを変更します。

```
DMC-1002:5# config system passwd
Command: config system passwd
Enter a old password:****
Enter a case-sensitive new password:****
Enter the new password again for confirmation:****
```

Refreshtime (リフレッシュレート)

説明

管理ツールが自動的にステータスページをリフレッシュするレートを設定します。

構文

DMC-1002:5# config system refreshtime [never | 10secs | 30secs | 1min | 5mins]

メニュー	説明
never	自動リフレッシュ間隔を無効にします。
10secs	リフレッシュ間隔を 10 秒に設定します。
30secs	リフレッシュ間隔を 30 秒に設定します。
1min	リフレッシュ間隔を1分に設定します。
5mins	リフレッシュ間隔を5分に設定します。

Show Commands (表示コマンド)

本コマンドセットでは、DMC-1002/JB、DMC-1000 シャーシとインストールされたメディアコンバータの詳細なステータス概要を表示します。

Show command_history (コマンドヒストリログ)

説明

最近のすべてのコマンドエントリのログを表示します。

構文

DMC-1002:5# show command_history

Show ipif (IP インタフェース表示)

説明

IP モード(スタティックまたはダイナミック)、IP アドレス、サブネットマスクの概要と DMC-1002/JB のデフォルトゲートウェイを表示します。

構文

DMC-1002:5# show ipif

Show mediaconverter (メディアコンバータ概要)

Chassis (シャーシ概要)

説明

シャーシシステムの詳細な概要を表示します。アクティブな電源装置とシャーシファンの状態を示します。

構文

 $\mathsf{DMC}\text{-}1002{:}5\#\,\texttt{show}$ mediaconverter chassis

Redundant(リダンダント概要)

説明

リダンダントグループのステータス概要を表示します。

構文

DMC-1002:5# show mediaconverter redundant

Status(全スロット概要)

説明

シャーシシステムの 16 スロットの詳細な概要を示します。スロット番号、デバイス名、アクティビティステータス、リンクステータス、デュプレッ クスモード、スピード、両方のメディアインターフェースポートのインディケータ故障を示します。

構文

DMC-1002:5# show mediaconverter status



図 5-2 Status 画面

I	۱	ラ	メ	ータ

メニュー	説明
Plugin	対応しているスロットに現在インストールされているメディアコンバータを表示します。
Media 1、2	メディアコンバータモジュールのポートを参照します。メディア1はモジュールの最初のインターフェースポートを参
	照し、メディア2は2番目のインターフェースポートを参照します。
Link	対応するメディアコンバータのリンクステータスを表示します。"V" エントリはアクティブリンクが確立されていること
	を示し、"X" エントリはアクティブリンクがないことを示します。
Dup	それぞれのポートで使用されているデュプレックスモードを表示します。"F" エントリはフルデュプレックスを示し、
	"H" エントリは、ハーフデュプレックスを示します。
Speed	それぞれのポートで使用されるスピードを、10M、100M、または 1G で表示します。
Fail	それぞれのポートの状態を表示します。"V" エントリはポートに問題があることを示し、"X" エントリはポートが予定さ
	れた通りに稼働していることを示します。

Show SNMP(SNMP 表示)

説明

SNMP バージョン、コミュニティ文字列、SNMP トラップ設定を含めたデバイスの SNMP 設定の詳細な概要を表示します。詳細は下図を参照ください。

構文

DMC-1002:5# show snmp

P 192.168.1.1 - PuTTY			
ME-1002:50 show snmp			
distant show ship			
SHAP GIODAL SCALE			
Same Community Table	Here Mana		
Constant Cy Danse			
	ReadWrite		
public	ReadOnly		
SIMP MORE TADle			
iont IP Address SHMP Versio	on Community Name/SHMPv3 User Mane		
	public		
ONP Authentication Trap	: Disabled		
AVEATAVE TEAD	: Disched		
ower Fail Trap	: Inabled		
an Fall Trap			
42 Plugin Trap			
C Pallout Trap	: Inabled		
SC LinkUp Trap	I Enabled		
S ADDINGONED TEAD	- Inabled		
Lative Slot Change Tran	: Inabled		
Active Slot Lose Trap	: Inabled		
CMIC-1002:5#			

図 5-3 Show SNMP 画面

Show System(システム表示)

説明

DMC-1002/JB モジュールの詳細な概要を表示します。モジュールの BIOS、ファームウェアとハードウェアバージョン、システム名、ロケーション とリフレッシュタイムステータスを示します。詳細は下図を参照ください。

構文

DMC-1002:5# show system

P 192.168.1.1 - PuTTY					
					×
					=
DMC-1002 Media Converter					
DMC-1002:5# show system					
Command: show system					
System BIOS Version	:1.00.000				
System Firmware Version					
System Hardware Version	:B1				
System Location	iOffice				
Web Refresh Time	:30secs				

図 5-4 Show System 画面